



暫定版

20年後の長寿社会の医療を
今、ここ島根で学ぶ

総合診療医

～次代の地域医療を担う医師、募集～

島根県では県内の各プログラムで連携を行っています。
オールしまねで総合診療医を応援しています。

専門医機構に申請をし、1次審査は終了していますが、
最終的な承認を待っている状況です。

今後、新専門医制度の動きに合わせて確定版を作成する予定です。



島根県観光キャラクター しまねっこ
島観連許諾第 3586 号

はじめに	01
プログラムの紹介	02
総合診療専門医育成ネットワークの年間の取り組み	04
後期研修医からのメッセージ	06
施設紹介	
島根大学医学部 総合医療学講座	08
島根県立中央病院	10
出雲市民病院	12
雲南市立病院	14
社会医療法人 仁寿会 加藤病院	16
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 島根県済生会 江津総合病院	18
浜田市国保診療所連合体/ 浜田医療センター	20
医療法人 橘井堂 津和野共存病院	22
大田市立病院	24
社会医療法人 石州会 六日市病院	26
島根県について、アクセス	28
島根県内の病院	29

日本の総合診療分野の専門医制度確立は、世界的にも遅れています。しかし日本でも高齢化など社会構造の大きな変革の中で、社会から総合診療専門医が求められています。

そんな中、日本の医師の専門医制度は抜本的な見直しが行われ、2017年度から新たな専門医制度が構築されることになり、その中で19番目の基本領域の専門医として総合診療専門医が位置づけられることになりました。

島根県では、2011年から日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門医養成プログラムを持つ医療機関が連携を図るために、総合医・家庭医育成ネットワーク（2015年より総合診療専門医育成ネットワークに名称を改変）をつくり、医療機関、大学、行政が一体となって家庭医療専門医の養成に取り組み、2015年度末時点で県内9プログラムにおいて12名の後期研修医が修練を積んでいます。

このネットワークでは、世話人会を定期的に開催し各プログラムのブラッシュアップと連携を図るとともに、指導医の向上の為にFD開催、全国研修会への参加支援、後期研修医向け研修会開催等様々な取り組みをしています。さらに後継者育成の為に、学生対象の総合診療ワークショップを年2回開催し、今までに10回のワークショップを実施してきました。これらのワークショップ参加者の中から総合診療専門医を目指す者も出てきています。

現在、新専門医制度移行に向け各医療機関がプログラムをさらにブラッシュアップし、8つの基幹型医療機関が総合診療専門医プログラムを日本専門医機構に申請しております。

新専門医制度移行後も、今までの取り組みをさらに発展させて、医療機関、大学、行政が連携を図りながら、総合診療医の育成に取り組んでいこうと考えています。

みなさん 総合診療を 島根で共に学びましょう!!

総合診療の第一歩を 島根から!!

2016年8月

総合診療専門医育成ネットワーク

世話人代表 谷口 栄作

(島根大学医学部地域医療支援学講座教授)

(注) このパンフレットに掲載したプログラムは、専門医機構の一次審査は終了しておりますが、最終的に承認されたものではなく、今回の説明会用に【暫定版】として作成したものです。そのために新専門医制度の動きに合わせて、最終版を再度作成します。
なおこれらのプログラムは、現在プライマリケア連合学会の家庭医療専門医プログラム (ver2) とほぼ同様のもので、今回紹介したプログラムを持つ施設は、家庭医療専門医プログラム (ver2) の認定施設 (予定を含む) でもありますので、これらのプログラムには平成 29 年度から参加することが可能です。

後期研修プログラム及びそれ以降の進路

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
研修内容	初期臨床研修		後期研修			サブスペシャリティ (在宅、医学教育、臨床研究等)				
研修施設	初期臨床研修病院		日本プライマリ・ケア連合学会 認定プログラム管理医療機関等			大学病院、県内・県外施設				
資格等			(内科認定医)			総合診療 専門医 取得	在宅専門医、病院総合医取得学位取得			

※サブスペシャリティについては、今後専門医機構で検討されていく予定です。

プログラムの内容

新専門医制度総合診療専門プログラム

総合診療専門研修プログラムは、複数の連携施設の協力体制が基盤となり、その中にある基幹施設が研修全体をコーディネートするスタイルとなります。

その施設群の構成要件として、3年以上の研修期間において、以下の基準を満たさなければなりません。

- ① 総合診療専門研修は診療所・中小病院における総合診療専門研修Ⅰと病院総合診療部門における総合診療専門研修Ⅱで構成され、それぞれ6ヶ月以上、合計で18ヶ月以上の研修を行う
- ② 必須領域研修として、内科6ヶ月以上、小児科3ヶ月以上、救急科3ヶ月以上の研修を行う
- ③ その他の領域別研修では、研修目標の達成に必要な範囲で外科・整形外科・産婦人科・精神科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科などの各科での研修を行う

日本プライマリ・ケア学会家庭医療専門医

基本プログラム Ver.2

- ① 領域別研修
 - ・必修研修：救急（3ヶ月）、内科（6ヶ月）、小児科（3ヶ月）
 - ・選択研修：整形外科、皮膚科、精神科、外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻科、眼科、緩和ケア、リハビリテーションなど（月単位の研修や週半日の外来研修などを組み合わせて行う）
- ② 総合診療研修Ⅰ（6ヶ月以上）：地域の診療所、小病院で行う
- ③ 総合診療研修Ⅱ（6ヶ月以上）：病院の総合診療部門で行う
- ④ ②と③は合計で18ヶ月以上の研修を行う
- ⑤ 3年間を通じた継続的な勉強会を実施する
- ⑥ 研修施設は、下記の関連施設を含む希望の施設の中から選択可

●サブスペシャリティとして在宅・医学教育、臨床研究等の分野を選択することができます。
その他のサブスペシャリティは今後検討されていく予定です。
希望に応じて、キャリア支援します。

●島根大学医学部では地域医療指導医を育成するために、大学院博士課程（地域医療）を作りました。
そこでそれぞれの希望により、働きながら研究をすることが可能です。
もちろん従来の大学院（博士課程）での研究も可能です。

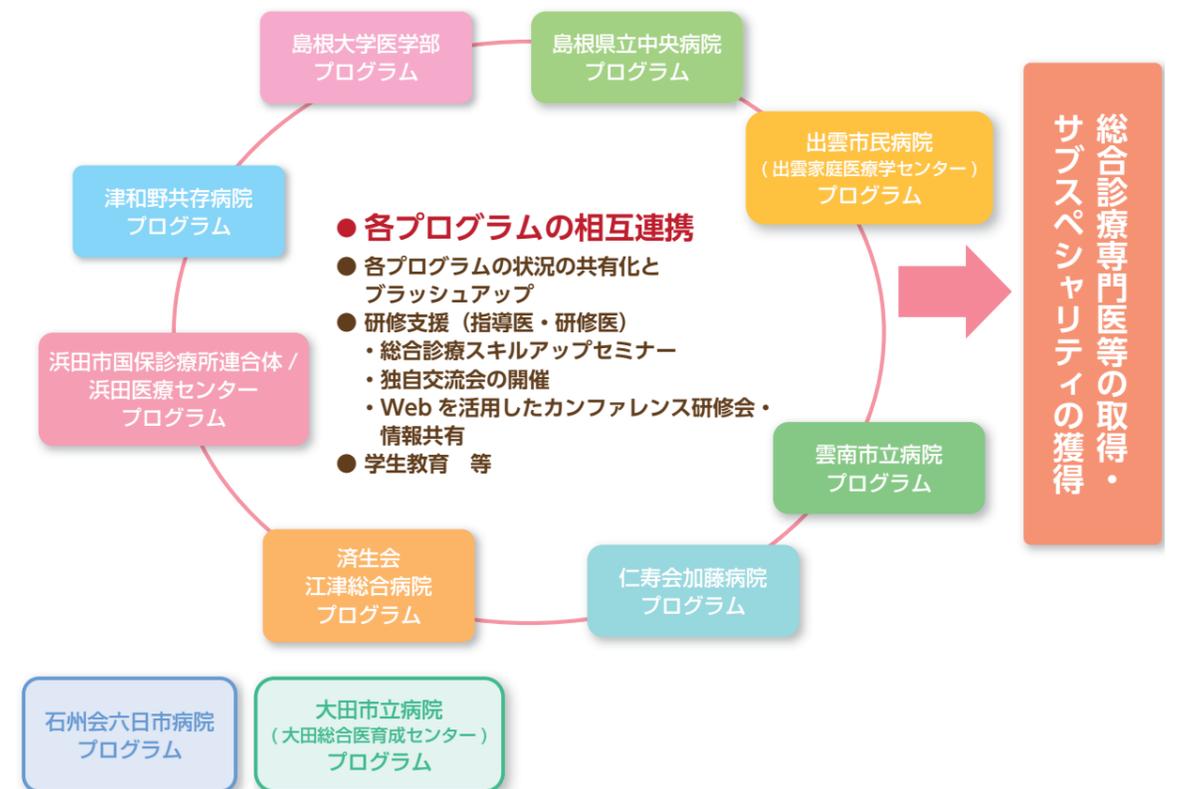
研修機関名

研修区分	総合診療専門医育成ネットワーク関連医療機関名
日本専門医機構 新専門医制度 総合診療専門研修プログラム 申請医療機関	島根大学病院、県立中央病院、出雲市民病院、雲南市立病院、仁寿会 加藤病院、 済生会江津総合病院、浜田市国保診療所連合体/浜田医療センター、 津和野共存病院
日本プライマリ・ケア連合学会 認定家庭医療専門医プログラム (ver.2) 管理医療機関	大田市立病院（大田総合医育成センター） 石州会 六日市病院
新専門医制度総合医療専門 研修プログラム 申請 連携施設	松江市立病院、松江生協病院、松江赤十字病院、JCHO玉造病院、 出雲市立総合医療センター、斐川生協病院、大曲診療所、エスポール出雲クリニック、 町立奥出雲病院、田井診療所、飯南病院、大田シルバークリニック、かとうクリニック、 公立邑智病院、医療法人社団花田医院、医療法人心和会船津内科医院、西川病院、 益田赤十字病院、松ヶ丘病院、益田地域医療センター医師会病院、隠岐病院、 隠岐島前病院、気仙沼市立本吉病院（宮城県）

※ その他、相談に応じて筑波メディカルセンター（茨城県）、水戸共同病院（茨城県）、筑波大学（茨城県）、亀田ファミリークリニック（千葉県）、奈義ファミリークリニック（岡山県）、沖縄県立中部病院（沖縄県）、ミネソタ大学、ワシントン大学、コロラド大学でも研修が可能です。

※1 これらの医療機関は、日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医プログラム管理医療機関ともなっています。

総合診療専門医育成ネットワーク 各プログラムの相互連携



総合診療専門医育成ネットワークの年間の取組み

ネットワーク世話人会開催

県内で総合診療専門医の育成に携わっている指導医、プログラム責任者が適宜、各プログラムの状況の共有化、今後の方向性等について検討



総合診療スキルアップセミナー参加支援

日本医療教育プログラム推進機構(JAMEP)による、総合診療医としての基本と応用能力のスキルを学ぶ実践方式のセミナーに県内医師が毎月参加



ブラッシュアップ講習会開催

指導医・後期研修医等を対象に年2回東部と西部で開催。総合医育成に関して先進的な取り組みを行っている全国の先生による、島根の研修プログラムを向上する為の講習会



総合診療ワークショップ

医学生を対象に年2回開催。複数の県内総合医が講師となり、地域と医療の連携、多職種連携、病病・病診連携等について討論、また「地域ケア」や「BPS」等のテーマで学生に総合診療の魅力を発信



日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会・家庭医療学セミナー参加支援

学術大会、学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー、若手医師のための家庭医療学冬期セミナーに希望者が参加、意見交換



PTLS (Primary care Trauma Life Support) コース開催

総合医・初期後期研修医を対象に年1回開催。前半は外傷初期評価のデモンストレーション、後半はFACT、レントゲン、穿刺、FAST・プライマリーサーベイ・骨盤のブースに分かれ実技講習



島根ジェネラリストFD

指導医を対象に県内総合医が企画・運営する研修会を年3回開催。2016年度は「指導医のフィードバックおよびコーチング力の向上」をテーマに、研修会での学習と現場での実践を繰り返し、参加者がフィードバックとコーチングを効果的に実践できるよう企画



後期研修医交流会開催

県内各地の後期研修医が集い、現在困っている事やその改善案について共有し横のつながりを作る機会を設定



研修会・カンファレンスの共有

大学等で開催する研修会をWEBにて県内希望病院等に随時配信



レジナビ参加

県内外で普及啓発活動の実施



えんネット

島根県では、医師の復職支援・キャリア形成支援窓口「えんネット」が設立されています。このえんネットの協力で多くのセミナーに託児室を設けています。また、ご希望の方はいつでも支援担当者(女性医師)による個別面談を設定させていただきます。

● 相談窓口

支援担当者、就労環境や育児・介護中の働き方の相談にのります。必要に応じて専門科等の先輩医師とマッチングを行い、よりキャリアに沿った支援も可能です。

● 託児付きセミナー・トレーニング

子育て中の医師でも参加しやすいよう、多くのセミナーに託児室を設けています。島根大学病院クリニカルスキルアップセンターにてシミュレーショントレーニングの受講も可能です(託児付き)。

● その他

就労環境改善バックアップの為に研修会や情報提供、学生等へのキャリア教育等の様々な支援を行っています。詳しくはえんネットHPへ!


<http://www.en-net.jp>





後期研修医からのメッセージ

弥栄の地から 家庭医を目指して

島根大学 総合医・家庭医養成プログラム
浜田市国民健康保険弥栄診療所 後期研修医
能美 雅之 先生



私 は現在卒後5年目で、家庭医(総合診療専門医)を目指して後期研修を行っています。

子供の頃は医者になりたいとは思わず、大学も全く違う学部(文学部で考古学を勉強していました)に通っていましたが、大学4年生のときに診療所医師だった祖父が亡くなった際に、診療所で働き地域に貢献できる医師になりたいという思いが芽生え、医学部進学を決意しました。

医学部は県外の大学でしたが、初期研修は地元に戻り島根大学で行いました。地域医療をやりたいものの、具体的に何をすればいいかわからない状態でしたが、転機となったのは2年目の5月に浜田市の弥栄診療所で行った研修でした。阿部先生をはじめとした先生方が地域に根ざした診療を行っておられる姿に感銘を受け、またそこで家庭医という存在を

知って、この道に進みたいと思うようになりました。同じ年に島根大学で家庭医の後期研修が動き出すのを知り、思い切って家庭医療の世界に飛び込みました。

今はその弥栄診療所で研修しています。診療所には子供からお年寄りまで色々な方が来られますが、中には医療だけでなく生活の面でも様々な困難を抱えた方もおられます。そのような時に介護や保険の方々と、その人の困難やそこから透けて見える地域の課題について解決策を共に目指していくというのは、大変ですがやりがいがある楽しいものです。弥栄ではそれぞれの職種の垣根が低くお互いの顔が見える関係で、家庭医療の研修を行うにはとても良い環境だと思います。自然も満載で住むにもいいところです。皆さんとともに島根を盛り上げていければ嬉しいです



後期研修医からのメッセージ

地域医療に やりがいを感じて

島根県立中央病院 地域医療・家庭医療プログラム
飯南町立飯南病院 後期研修医
門脇あゆみ 先生



私 は、自治医科大学を卒業し、初期臨床研修後、内科医として隠岐病院へ赴任しました。

隠岐病院では、本土への搬送が必要かどうかの判断に迫られたり、防災ヘリへ同乗して患者搬送を行ったりと離島ならではの貴重な経験をしました。

そして卒後4年目から現在に至っては、飯南病院に勤務し、内科疾患はもちろんのこと、内科以外の疾患への対応、診療所や施設回診、訪問診療、多職種での褥瘡回診等、多岐にわたって診療を行っています。また、各種超音波、上下部内視鏡やERCPといった検査、トロッカー、イレウスチューブ挿入といった初期対応も他科へすぐ依頼できる環境ではないため、自ら行っています。さらに当院では、外来での状況や言動、背景が気になる患者を挙げて、保健師、ケアマネ、看護師(病棟/外来/訪問)、医師

で定期的に情報交換、カンファレンスを行っています。SOSが出せない人に気が付く、病気は治ったが退院して生活できるのか、できないのであれば何が必要なかを考えると、地域医療で必要不可欠な感覚を先輩医師やスタッフから学んでいます。当たり前のことですが、生活環境や背景も診て、訴えに耳を傾けて、じっくりとその人に向き合い、超音波や内視鏡を武器に初期対応を行うことに、今はやりがいを感じています。

この教科書では学べない地域医療のマインドやスキルはここで培うことができると考えています。



島根大学医学部 総合医療学講座

◎ 島根大学病院総合診療専門医コース

連携施設 松江赤十字病院、玉造病院、県立中央病院、出雲市民病院、大曲診療所、出雲徳洲会病院、大田市立病院、大田シルバークリニック、上垣医院、済生会 江津総合病院、浜田市国保診療所連合体、津和野共存病院、隠岐島前病院、隠岐病院、社会医療法人仁寿会 加藤病院、社会医療法人石州会 六日市病院

救命救急センター
救急告示
災害拠点
がん拠点
地域医療拠点
臨床研修指定

施設概要

出雲市は、島根県の中では、松江市について人口の多い地域です。現在、出雲圏域においても他圏域同様、高齢化が進行しており、医療の需要は増大傾向にあります。多くの地域で、救急医療の充実、二次医療機関の充実に対する要望と、外来診療や在宅及び地域ケアも含めたプライマリ・ケアを担うかかりつけ医の需要があります。地域のかかりつけ医から病棟管理も含めた幅広い診療現場で活躍する人材が必要とされています。



所在地 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

診療科目 内分泌代謝内科、腫瘍・血液内科、膠原病内科、神経内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、呼吸器・科学療法内科、腎臓内科、消化器外科、肝・胆・脾外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、整形外科、耳鼻咽喉科、小児科、脳神経外科、眼科、精神科神経科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、産科、婦人科、歯科口腔外科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科

院長 井川 幹夫

開設者 国立大学法人 島根大学

開設年月日 1979年4月1日

病床数 600床（うち一般570床）

外来患者数 約989.2人/日（平成26年実績）

入院患者数 約509.1人/日（平成26年実績）

医師数 356人（加えて、非常勤医師2人・歯科医師12人）

処遇・募集要項

応募資格 初期研修修了

採用予定人数 3名

身分 研修施設先の処遇に準じる

給与 1年次月額/研修施設先の処遇に準じる
2年次月額/研修施設先の処遇に準じる
その他/

当直 研修施設先の処遇に準じる

休暇 研修施設先の処遇に準じる

社会保険等 研修施設先の処遇に準じる

宿舍の有無 研修施設先の処遇に準じる

× 指導医からのメッセージ

当コースは、島根県内各地での病院・診療所・地域の幅広い患者のニーズに応え、頼りになる総合診療医を育成することを教育理念としています。これからは、総合診療医が主体的に地域で活躍することが求められる時代がやってきます。地域で求められる医師の基礎作りのための3年間となります。島根県内でも徐々に総合診療を目指す医師が増えてきています。是非一緒に、総合診療医を目指して見ませんか？



島根大学医学部
総合医療学講座・助教
木島 庸貴

研修内容

研修の特徴

当研修は総合医療学講座に在籍しながら、島根県各地で研修を行うコースです。大学内で行う研修は短期間ですが、島根県内の複数の施設で合計3年間の研修を行います。離島・中山間地域を含め様々な地域で、その土地を熟知した指導者のもと現場での研修を行います。また並行してテレビ会議システムで3年間継続した学習も行います。そのような研修を通して、総合診療医としての能力を身につけます。

カンファレンス等

- 毎週火曜日に早朝勉強会（Journal club、心電図勉強会）、午後外来や病棟症例の振り返り（大田市立病院）
- 毎週水曜日18時～20時に家庭医療勉強会（common disease、家庭医療のコア、ポートフォリオ作成支援、FD）（出雲市民病院）
- 毎週金曜日午後総合診療症例のカンファレンス（島根大学病院）



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	島根大学病院 救命救急センター (救急 領域別研修)			大田市立病院 内科 (内科 領域別研修)						大田市立病院 小児科 (小児科 領域別研修)		
	2年次	大田市立病院 内科 (総合診療研修Ⅱ)						浜田市国保診療所連合体 (総合診療 研修Ⅰ)					
	3年次	隠岐島前病院 (総合診療研修Ⅰ・Ⅱ)						出雲市民病院 家庭医療科 (総合診療研修Ⅱ)					

週	月	火	水	木	金
AM	病棟	早朝勉強会 外来	検査	検査	病棟
PM	救急外来	病棟	診療所 研修	病棟	救急/カン ファレンス
夕方	病棟カンファ レンス		合同勉強会		



応募連絡先

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

総合医療学講座 助教 木島 庸貴

TEL : 0853-20-2635 FAX : 0853-20-2634

E-mail : kijima@med.shimane-u.ac.jp

HP : www.shimane-u-gme.jp/



JR 出雲市駅南口から徒歩25分（タクシー約5分）

島根県立中央病院

島根県立中央病院 総合診療専門研修プログラム

連携施設 隠岐島前病院、隠岐病院、雲南市立病院、出雲市民病院、飯南病院、公立邑智病院、浜田市国保診療所連合体、益田赤十字病院、益田医師会病院、津和野共存病院、大曲診療所

救命救急センター
救急告示
災害拠点
がん拠点
地域医療支援
地域医療拠点
臨床研修指定
総合周産期母子医療センター

施設概要

島根県立中央病院は、県内全域を対象に、24時間体制の救命救急センター、総合周産期母子医療センターの役割を担うなど高度・特殊・専門医療を提供し、また、地域がん診療連携拠点病院、基幹災害医療センターとしての役割を担っています。さらには、当院を基地病院とする島根県ドクターヘリにより現場救急や転院搬送を行うなど地域医療支援を積極的に行っています。



所在地 〒693-8555 島根県出雲市姫原四丁目1番地1

診療科目 リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、内視鏡科、検査診断科、病理組織診断科、総合診療科、精神神経科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ・アレルギー科、血液腫瘍科、内分泌代謝科、感染症科、外科、乳腺科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、腎臓科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、救命救急科、麻酔科、手術科、集中治療科、小児科、小児外科、新生児科、産婦人科(歯科口腔外科除く)

院長 菊池 清

開設者 島根県

開設年月日 1940年1月

病床数 634床(うち一般588床)

外来患者数 1,112人/日

入院患者数 549人/日

医師数 162人

処遇・募集要項

応募資格 医師免許取得者で初期臨床研修修了者または修了見込者

採用予定人数 5名

身分 常勤嘱託医師

給与
1年次月額/460,000円
2年次月額/500,000円
3年次月額/540,000円
その他/宿日直手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、期末手当など

当直 月1～2回程度

休暇 年次有給休暇20日、夏季休暇、年末年始、忌引休暇など

社会保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険

宿舍の有無 医師宿舍

指導医からのメッセージ

2025年の超高齢化社会にも対応できる医療を実践しているご縁の国しまねで本物の研修をし、第一線の地域医療の現場で本当に必要とされる本物の診療能力を身につけることができます。

E R型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院と、ご縁の国しまねの海と山にある連携施設で、住民と協働した全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。自治医大卒業医70余名を含む、総合医を育成した経験に則り、地域住民、各種団体、ボランティアや医療機関職員などの理解と協力のもとで本物の研修ができる環境を整え、若手医師が自分たちの未来を創造するプログラムとなることを目指します。



島根県立中央病院
総合診療科部長
増野 純二

研修内容

研修の特徴

総合診療科は、幅広く外来入院診療をしており、救命救急科や急性期専門各科と協働し全人的医療を展開しています。救急科研修は、救急専門医および各専門診療科のバックアップのもと一次から三次まで、乳児から高齢者まで、安心安全な研修ができ、地域での診療の自信になります。複数の指導医のもと、感染症、がん・緩和、臨床研修、地域連携、難病診療、救急の分野で病院および地域医療のリーダーを目指した研修をしています。

地域医療では、医師が相互乗り入れで勤務する診療所と中小病院の「ブロック制」での研修を行い、地域包括ケアを業務の一環として研修が可能です。テレビ会議システムでの画像、診療支援による「地域・へき地医療支援」を体感することができます。



カンファレンス等

総合診療科での多職種参加による定期カンファレンス(退院在宅療養支援、症例検討、テレビ会議システム利用地域医療支援)、院内研修会、地域健康教室の講師。医療倫理講習会、医療安全講習会、地域参加型カンファレンスは病院行事として実施。研修医中心の研修参加可能(救急診療レクチャー、診療手技実習、救急症例検討、臨床病理薬理カンファレンス)。褥瘡、栄養支援、緩和、感染制御、退院支援、クリニカルパスなどのチームがあり、委員として参加。

各種学会参加、発表には参加交通費補助あり。

指導医講習会や緩和医療、JPTEC、JATEC、ICLS、ACLS等の各種救急講習会参加も助成あり。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
間	1年次	内科(県立中央病院・益田赤十字病院)						救急研修(県立中央病院・益田赤十字病院)			小児科(県立中央病院・隠岐病院・隠岐島前病院・邑智病院・益田赤十字病院)			
	2年次	総合診療専門研修Ⅰ(隠岐病院・隠岐島前病院・飯南病院・邑智病院・浜田診療所群・益田医師会病院・津和野共存病院)												
	3年次	選択(県立中央病院)			総合診療専門研修Ⅱ(県立中央病院・益田赤十字病院)									

週	朝	月	火	水	木	金
間	AM	病棟内視鏡	外来	選択科研修・臨床検査	病棟・救急対応	外来
	PM	退院支援検討会	緩和ケア・感染症科回診	選択科研修・臨床検査	病棟診療	病棟・救急対応
	夕方			手技訓練	カンファレンス	



応募連絡先

〒693-8555 島根県出雲市姫原四丁目1番地1

総合診療科部長 増野 純二

TEL: 0853-22-5111 FAX: 0853-21-2975

E-mail: kenshuc@spch.izumo.shimane.jp

HP: <http://www.spch.izumo.shimane.jp/>



JR出雲市駅から徒歩20分、出雲空港からバス等で20分

出雲市民病院

救急告示

◎ 出雲市民病院・出雲家庭医療学センター 総合診療専門研修プログラム

連携施設 大曲診療所、県立中央病院、大田市立病院、松江市立病院、松江生協病院、斐川生協病院、隠岐島前病院

施設概要

出雲市民病院は家庭医療科外来において、かかりつけ機能を有した中小病院というセッティングの一般外来診療を行います（質の高い慢性疾患管理、継続性を活かした診療、患者中心の医療技法の実践）。病棟は臓器別ではない一般内科の急性期・亜急性期・維持期の入院診療を行っています。大曲診療所はこの10年間、歴代の若手家庭医が所長を務め、職員全体で専攻医を育てていく総合診療の教育診療所としての大きな実績がある診療所での研修です。



所在地 〒693-0021 島根県出雲市塩冶町1536-1

診療科目 内科、消化器科、循環器科、神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科

院長 小松 泰介

医師数 10人

開設者 象谷 幸正

開設年月日 1950年11月

病床数 180床（うち一般180床）

外来患者数 170人/日

入院患者数 150人/日

処遇・募集要項

応募資格 医師初期臨床研修修了者

当直 月2～3回

採用予定人数 3名

休暇 年次有給休暇 初年度10日間、夏期休暇4日、年末年始休暇4日

身分 正職員

社会保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

給与 1年次月額/470,000円
2年次月額/510,000円
その他/時間外手当、日当直手当、住宅手当、家族手当、通勤手当、病棟主治医手当、その他

宿舍の有無 無

× 指導医からのメッセージ

出雲家庭医療学センターの研修プログラムは2007年よりスタートし、これまでに複数名の家庭医療専門医を輩出し、島根県内外からの専門研修の受け入れを続けています。

当センターの研修プログラムでは、診療所の総合診療専門医と中小病院の総合診療専門医を育てる事をアウトカムとしています。これからの島根県の医療を考えると、診療所や中小病院に複数名の総合診療専門医が存在することで診療所レベルの診療の質の底上げを行い、高齢者の多い島根県の中小病院での医療を効果的に行う医療モデルとなると考えています。そのため、これから島根県で総合診療専門医は更に増えなければなりません。ぜひ多くの総合診療専門医志望の方が参加してくれる事を願っています。一緒に総合診療をやしましょう！



プログラム責任者
高橋 賢史

研修内容

研修の特徴

総合診療専門研修は出雲市民病院と大曲診療所にて行います。総合診療を実践しているフィールドにおいて実践を繰り返しつつ、総合診療の指導医から直接指導を受け総合診療の思考・言語のシャワーを浴び続けることで、総合診療専門医としての成長が得られます。各科ローテイトだけで総合診療専門医になれる訳ではないという大きな理由がそこにあります。総合診療専門研修を主軸としつつ、内科・小児科・救急科研修、その他の領域研修において総合診療専門医として必要な領域別知識・技術を修得します。



カンファレンス等

毎週水曜日の夜に出雲市民病院で「家庭医療セミナー」という勉強会を開催しています。当センターの専攻医、総合診療指導医、島根大学プログラムの専攻医、総合診療指導医たちが10人程度集まり行っています。家庭医療セミナーの中で定期的にClinical-Jazzと呼ばれるカンファレンスを行います。

家庭医療後期研修の3年間でポートフォリオ作成を行います。専攻医のポートフォリオ作成支援、ならびに総合診療専門医として成長するためのカンファレンスで、実践経験を通して自身の振り返りを行い、指導医は専攻医の学びや気づきを引き出す声かけを意識します。総合診療専門医の言語のシャワーを浴びるClinical-Jazzを通じて、専攻医は総合診療専門医としての思考・言動・人格を身につけていきます。Clinical-Jazzは「批判しない No-blame culture」を大前提として行います。

スケジュール例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間	出雲市民病院（総合診療専門研修Ⅱ）											
	適宜：研修協力施設にて単位研修・ブロック研修											
	大田市立病院（内科）			大田市立病院（小児科）			県立中央病院（救急科）					
	週1回、大曲診療所へハーフデイ/ワンデイバック											
3年次	大曲診療所（総合診療専門研修Ⅰ）											
	適宜：研修協力施設にて単位研修（眼科、整形外科など）											
4年次	引き続き診療所でフェロシップ 専門医受験											

後期研修修了後、3～5年のフェロシップ準備中
(中小病院の家庭医フェロー、診療所の家庭医フェロー)



応募連絡先

〒693-0021 島根県出雲市塩冶町1536-1

出雲家庭医療学センター事務局 あだち ゆうき 足立 祐貴

TEL : 0853-21-2722 FAX : 0853-21-8101

E-mail : igakusei.icfm@izumo-hp.com

HP : <http://www.izumo-hp.com/katei/index.html>



JR出雲市駅より徒歩10分

雲南市立病院

雲南市立病院 総合診療専門医研修プログラム

連携施設 田井診療所、大曲診療所、飯南病院、隠岐島前病院、社会医療法人 仁寿会 加藤病院、県立中央病院、島根大学病院、松江赤十字病院、松江市立病院



救急告示
災害拠点
地域医療拠点

施設概要

雲南市立病院は県東部の雲南市を含む雲南2次医療圏（東京23区と同等の土地面積、圏域住民約6万人）の地域中核病院であり、地域に根差した病院として、幅広い医療を展開しています。これからの地域医療を担う人材を積極的に育成するため「地域医療人育成センター」を開設しています。また平成22年に「地域総合診療科」を開設し、総合診療に外科の要素を取り入れ、外科系総合診療医の育成という独自の形態にも積極的に取り組んでいます。「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」を基本理念とし、地域住民の皆さまとともに協力し合いながら、地域医療を守っています。



平成29年度開院予定

所在地 〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96-1

診療科目 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、地域総合診療科

院長 大谷 順

開設者 雲南市長 速水雄一

医師数 21人

開設年月日 1948年3月1日

病床数 281床（うち一般156床、地域包括ケア病棟43床）

外来患者数 395.4人/日（平成27年度）

入院患者数 253.9人/日（平成27年度）

処遇・募集要項

応募資格 医師免許取得者

採用予定人数 1名

身分 正規職員（常勤医）

給与 1年次月額/当院規程に準ずる
2年次月額/当院規程に準ずる
その他/時間外手当、宿日直手当、通勤手当、住宅手当など

当直 月2～3回

休暇 1年次15日、2年次20日、夏期休暇3日など

社会保険等 健康保険、厚生年金、労災保険、医師賠償責任保険

宿舍の有無 単身用8,500円、世帯用9,500円

指導医からのメッセージ

当院は地域に根ざした病院として、プライマリケアから高度医療、さらには在宅医療や終末期医療まで非常に幅広い医療を行っています。また、研修医の先生が少ない当院では直接関与できる症例が多く、密度の濃い研修が可能です。

当院のプログラムの特徴としては、一般的な総合医養成プログラムが内科系医師養成のものであるのに対し、外科系の知識や技術も兼ね備えた、ある意味真の総合医、家庭医養成を目指すものであることです。当院の目指す総合診療・総合医の概念は、地域の特性を十分に理解した上で、医療上のあらゆる問題に対応でき、疾病に関わる身体状況のみならず、心のケアや療養環境にまで心を配り、患者・家族との継続したパートナーシップを構築できる医療や医師を育成していきます。



雲南市立病院 院長
地域総合診療科
大谷 順

研修内容

研修の特徴

プログラムの特徴は、一般的な総合医養成プログラムが内科系医師養成のものであるのに対し、外科系の知識や技術も兼ね備えた総合診療医を目指しています。

また、地域ケア科を新設し、病院の総合診療を担い、患者さんの希望に応えながら入院から在宅医療を一貫し、地域の開業医の先生、保健機関の方々と協力しながら、在宅医療を行っていきます。

中山間地域の限られた医療資源の中で、NPO / 行政 / 住民自治組織等と連携しながら、地域包括ケアのマネジメントやリーダーシップが取れる医師を高く育成します。そのため、中山間地域の研修だけでなく選択肢として海外での保健医療に従事できる期間も設け、医療資源やマンパワー不足の現場で活躍できるマインドと実践能力を伸ばす機会を整えています。



カンファレンス等

- 地域ケア科症例検討（毎日）
- 地域総合診療科カンファレンス（毎日）
※外科、内科医師合同カンファレンス
- 抄読会・外部研修会（適宜）
- 各種学会参加



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	総合診療Ⅱ 雲南市立病院											
	2年次	小児科（雲南市立病院） ※高次医療機関可			救急科 （県立中央病院・島根大学）			内科（県立中央病院・島根大学病院・松江赤十字病院）					
	3年次	総合診療Ⅰ（診療所・中小病院 ※選択）						選択科（診療科により選択）					
	4年次	※国際保健研修（希望による）											

週	月	火	水	木	金	
間	AM	カンファレンス 外来	カンファレンス 救急	カンファレンス 外来	カンファレンス 検診	カンファレンス 外来
	PM	救急	回診 検査	手術	手術	救急
	夕方	勉強会		抄読会		



応募連絡先

〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96-1
 総務課企画係（地域医療人育成センター）^{かつべ たくじ} 勝部 琢治
TEL : 0854-43-2441 FAX : 0854-43-2398
 E-mail : hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp
 HP : http://unnan-hp.jp/



出雲空港から自動車約20分、JR松江駅からJR出雲大東駅まで約40分、JR出雲市駅からJR出雲大東駅まで約60分、JR出雲大東駅より徒歩2分、松江自動車道 三刀屋木次ICから約15分

社会医療法人 仁寿会 加藤病院



地域医療拠点

総合診療専門研修 仁寿・川本あいあいプログラム

連携施設 島根大学病院、公立邑智病院、県立中央病院、済生会江津総合病院、在宅復帰強化型介護老人保健施設

施設概要

社会医療法人仁寿会加藤病院は、中国山地の渓谷、島根県の「おへそ」といってよい邑智郡に位置しています。地域住民の保健、医療、介護に関するニーズに応えるべく、疾病予防、急性期医療から慢性期医療、さらには介護サービスまで幅広く提供しています。

～川本町のセールスポイントは～

☆江の川や美しい田園風景の中で田舎暮らしを楽しめます！

☆今注目の陸の青魚と言われる「エゴマ」が特産品です！



所在地 〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本383-1

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、ペインクリニック内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、在宅診療科；強化型在宅療養支援病院

院長 加藤 節司

開設者 加藤 節司

開設年月日 1966年1月

病床数 81床（うち地域包括ケア病床55床 療養病床26床）

医師数 11人

外来患者数 122人/日（昨年度平均）

入院患者数 56人/日（昨年度平均）

処遇・募集要項

応募資格 初期医師臨床研修2年終了後または卒後2年以上の医師で家庭医療、地域医療に興味があるもの。医療に情熱のある方。

採用予定人数 若干名

身分 常勤医

給与 1年次月額/当法人規定に準ずる
2年次月額/当法人規定に準ずる
その他/

当直 月2回程度

休暇 年次有給休暇14日、盆休み8/14-16、年末年始12/30-1/4、夏季休暇有り、出産、育児、介護休暇有。

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 有

指導医からのメッセージ

ようこそ、仁寿会加藤病院へ。当院は1932年、川本病院を故加藤忠造が継承し加藤病院として当地域へ誕生して以来、常に地域に密着した医療を提供してきました。2011年には全国で16番目の社会医療法人（へき地医療分野）と認定されています。進むべき道、達成すべき理念として「心技体を鍛え責任を全うする」ことを示しています。「私たちが「心・技・体」を鍛えつつ「責任」を持って地域・社会に貢献することでその信頼と期待に応えようというのが私たちの目指す姿です。教えることは学ぶこと、学ぶことは教えることをプログラムの「コアバリュー」として私たち職員一同は当プログラムに参加する皆さんと会える日を楽しみに待っています。



社会医療法人 仁寿会 加藤病院 理事長 加藤 節司

研修内容

研修の特徴

医療関連専門職連携にフォーカスした、患者さん中心の地域包括ケアを提供できる医師になるためのプログラムです。

このプログラムの特徴を四つ示します。

Diversity：多様性

多様な地域医療人参加に加え、多様な医療提供の場、これら地域に根ざす多様性に満ちた医療教育環境は、安心して学ぶことのできる学習環境です。

Inter-professional：医療関連専門職連携

医師にとって様々な健康課題を解決するためには、医療関連専門職との緊密な連携が必要です。多くの専門職が有機的に連携する医療チームが、患者さん中心の、継続性が担保された、地域包括ケアを実現している現場で、その要諦を学びます。

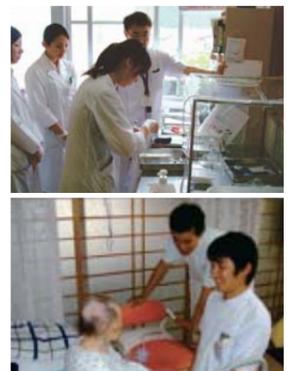
Interactive：相互作用

教えることは学ぶこと、学ぶことは教えることのサイクルを根気よく継続します。

学習者中心

学習者のニーズを第一に開発された本プログラムです。一般目標にあるキャリアセルフリライアンス支援は、学習者中心学習をより進化させたものです。

以上四つの特徴により、キャリアセルフリライアンスを練磨しつつ、地域の人々を最もよく知る家庭医を目指しましょう。



カンファレンス等

多職種参加によるカンファレンスを定期的実施している。カンファレンス内容（教育カンファレンス・症例カンファレンス・栄養サポートチームカンファレンス・褥瘡チームカンファレンス・リハビリテーションカンファレンス・ケアカンファレンス・在宅療養支援カンファレンス・臨床倫理カンファレンス・病床管理カンファレンス）、院内研修会の講師、地域健康教室・企業衛生委員会等での健康教育活動、JPTEC、ICLS、ACLS等各種団体のコース研修。各種学会参加。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
間	1年次	総合診療専門研修I（社会医療法人 仁寿会 加藤病院）							総合診療専門研修II（社会医療法人 仁寿会 加藤病院）					
	2年次	必修内科 （島根大学病院又は県立中央病院）							必修小児科（邑智病院または島根大学病院）			必修救急科（島根大学病院）		
	3年次	領域別研修その他							総合診療専門研修I（社会医療法人 仁寿会 加藤病院）					

週	月	火	水	木	金	
間	AM	法人朝礼 病床管理部会 訪問診療	内視鏡検査 腹部エコー検査 リハビリテーション ¹	訪問診療 ²	朝礼 ³ カンファレンス 巡回診療同行研修	介護老人福祉施設配置医師 診療
	PM	訪問診療 医師会議 ²	外来診療 予防接種 ⁵	訪問診療 カンファレンス （褥瘡回診） ⁶	外来診療 予防接種 ⁵	訪問診療 診療録監査 ⁷ カンファレンス
夕方	診療録監査 一分間振り返りシート記載					

*1…通所リハビリテーションにおけるパワーリハビリテーション *2…居宅 GH 養護老人ホーム 高齢者賃貸住宅など
*3…在宅療養支援センター朝礼・自分自慢プレゼンテーション *4…在宅療養支援 *5…初診・継続外来、禁煙外来
*6…じよく副管理チーム *7…週末在宅患者申し送り



応募連絡先

〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本383-1

事務局 事務統括部 経営管理課 上田 裕一

TEL：0855-72-3040⁸ FAX：0855-72-3039

E-mail：into@k-jinju.or.jp

HP：http://www.k-jinju.or.jp/



*8…事務局直通



JR 三江線 石見川本駅より徒歩5分

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 島根県済生会江津総合病院

○ 島根県済生会江津総合病院 総合診療専門プログラム

連携施設 医療法人社団 花田医院、医療法人心利和会 船津内科医院、社会医療法人仁寿会 加藤病院、島根大学病院、独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター、公立邑智病院、県立中央病院

救急告示
災害拠点
地域医療拠点

施設概要

1911年2月、明治天皇の「恵まれない人々のために施薬救療を行うように」との済生勅語により済生会が創設され、現在は全国95の病院・診療所と、300余りの福祉施設等を運営し、約58,000人が働く、日本最大の社会福祉法人です。当院は1955年4月から医療活動を開始しました。江津市は高齢者の多い地域であり、急性期から慢性期までの医療を行いながら、済生会グループの高砂ケアセンターや白寿園、または他の医療・福祉機関とも連携を図っています。



所在地 〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37

診療科目 内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科

院長 中澤 芳夫

開設者 田中 増次

医師数 16人

開設年月日 1955年4月

病床数 許可病床 300床（うち一般172床）

外来患者数 277人/日

入院患者数 189人/日

処遇・募集要項

応募資格 医師免許取得者

当直 3回程度/月

採用予定人数 3名

休暇 有給休暇8日、夏季休暇4日、リフレッシュ休暇4日、年末年始6日

身分 常勤医

社会保険等 健康保険、厚生年金、労災保険他

給与 1年次月額/当院規程に準ずる
2年次月額/当院規程に準ずる
その他/

宿舍の有無 医師住宅貸与（14,000円/月）

× 指導医からのメッセージ

当院は、地域に密着した病院として地域住民に愛される病院を目指しています。高齢者の多いこの地域では急性期はもとより慢性期や在宅医療等の幅広いニーズがあり、そのニーズに応えるよう日々頑張っています。島根県済生会は医療を行う江津総合病院、老人保健施設である高砂ケアセンター、特別養護老人ホームの白寿園という3つの施設から成り立っています。これらの環境を生かして慢性期疾患や在宅医療についても幅広く研修を受けることができます。また救急科や小児科など連携施設での研修も充実しており、救急医療から慢性期を経て在宅医療に至るまでのシームレスな内容の研修が本プログラムの特色です。



院長
中澤 芳夫

研修内容

研修の特徴

本プログラムにおいては、ケアミックス型の中規模病院である江津総合病院を中心に島根大学病院や県立中央病院のような大規模病院から近隣開業医まで、また江津総合病院の関連施設である老人保健施設や特別養護老人ホームなどの福祉施設において、急性期医療から慢性期、リハビリを経て在宅まで、シームレスな研修が可能となっている研修プログラムである。



カンファレンス等

- 外来医療
幅広い症例を経験し、症例カンファレンスを通じた臨床推論や総合診療の専門的アプローチに関する議論などを通じて、総合診療への理解を深めていきます。
- 在宅医療
症例カンファレンスを通じて学びを深め、多職種と連携して提供される在宅医療に特徴的な多職種カンファレンスについても積極的に参加し、連携の方法を学びます。
- 病棟医療
入院担当患者の症例提示と教育的フィードバックを受ける回診及び多職種を含む病棟カンファレンスを通じて診断・検査・治療・退院支援・地域連携のプロセスに関する理解を深めます。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
間	1年次	江津総合病院（総合診療専門研修Ⅱ）							花田医院・船津内科医院・加藤病院（総合診療専門研修Ⅰ）					
	2年次	邑智病院・浜田医療センター、 県立中央病院（小児科）			県立中央病院・島根大学病院 （救急科）				江津総合病院（内科）					
	3年次	江津総合病院（その他領域（外科、整形外科、産婦人科））							江津総合病院（総合診療専門研修Ⅱ）					

週	月	火	水	木	金
AM	外来	外来	外来	外来	検査
PM	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
夕方					カンファレンス

応募連絡先

〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37

総務課人事係 和原 いづみ

TEL : 0855-54-0101 FAX : 0855-54-0171

E-mail : i-wahara@saiseikai-gotsu.jp

HP : <http://www.saiseikai-gotsu.jp/>



JR 江津駅より徒歩10分

浜田市国保診療所連合体 / 浜田医療センター

◎ 浜田市地域包括ケア総合診療専門医コース

連携施設 島根大学病院、県立中央病院、清和会 西川病院（精神科・神経科）、気仙沼市立本吉病院（被災地医療）

救命救急センター
救急告示
災害拠点
がん拠点
地域医療支援
地域医療拠点
臨床研修指定

施設概要

浜田市は人口約5万7,000人の島根県西部の中核都市です。高齢化率40%を超える中山間僻地にある浜田市の4つの国保診療所、市全体の医療保健を担う浜田市役所地域医療対策課、浜田市全体だけでなく県西部の3次医療機関である浜田医療センターが協力して総合診療医の教育に臨んでいます。

やさか 弥栄診療所

〒697-1122 島根県浜田市弥栄町木都賀1530番地1
●石見交通バス弥栄線柵束バス停より徒歩3分



所長：阿部 顕治
開設者：久保田 章市
開設年月日：1996年10月
病床数：0床
外来患者数：9,024人/年
診療科目：内科、眼科
医師数：2人

たいま 大麻診療所

〒697-1337 島根県浜田市西村町1031番地5
●JR山陰本線折居駅より徒歩6分



所長：飯島 慶郎
開設者：久保田 章市
開設年月日：1955年4月
病床数：0床
外来患者数：884人/年
診療科目：内科、心療内科
医師数：1人

はさ 波佐診療所

〒697-0211 島根県浜田市金城町波佐1441番地1
●石見交通バス波佐線東谷下バス停より徒歩2分



所長：宮本 雄一
開設者：久保田 章市
開設年月日：1959年1月
病床数：0床
外来患者数：4,601人/年
診療科目：内科、小児科
医師数：1人

浜田市役所地域医療対策課

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
●石見交通バス市役所前バス停より徒歩1分

医療専門監：宮本 雄一
開設年月日：2007年10月
医師数：1人

あさひ診療所

〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原138番地1
●浜田市営バス旭インター前バス停より徒歩1分
高速広浜線旭インターバス停より徒歩7分



所長：佐藤 誠
開設者：久保田 章市
開設年月日：2005年8月
病床数：0床
外来患者数：7,013人/年
診療科目：内科、小児科、整形外科
医師数：1人

独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター

〒697-8511 島根県浜田市浅井町777番地12
●JR山陰本線浜田駅より徒歩2分



院長：石黒 眞吾
開設年月日：1945年12月
病床数：365床
(うち一般361床)
外来患者数：512.2人/日
入院患者数：284.7人/日
医師数：45人
診療科目：総合診療科、内分泌・代謝内科、血液・腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

処遇・募集要項

応募資格 初期臨床研修修了者及び修了予定者

採用予定人数 2名/年

身分及び給与

- 浜田市国民健康保険診療所の研修では、浜田市役所の臨時職員として採用。給与は浜田市の規定に基づき算出。(月額55万円程度)
- 浜田医療センターの研修では、浜田医療センターの常勤職員として採用。給与は浜田医療センターの規定に基づき算出。(月額 卒後3年次59万円、4年次63万円、5年次65万円)

当直 浜田医療センターで、月3回程度

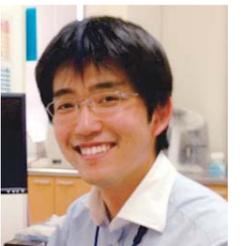
休暇 年次有給休暇、夏期休暇

社会保険等 社会保険、医師賠償責任保険など、各種保険有り

宿舎の有無 研修医宿舎無償貸与、各種家電、備品付(単身用、光熱水費は実費負担)

× 指導医からのメッセージ

浜田医療センターは、島根県西部の中心的な3次医療機関として高度医療を担う医療機関です。総合診療科での研修では、複数の健康問題を抱えた患者さんのマネージメントを通して総合的な診療能力を磨くことができるでしょう。また、各専門科も充実しております。総合医になるために必要な各科の診療能力を高めることができます。4つの診療所は中山間地域にある国保診療所です。高齢化の進んだへき地での医療は、まさしく総合力を問われます。浜田医療センターで学んだことを地域の現場で実践し、身に付けるにはこれ以上のフィールドはないと思います。一人の患者さんを地域で長いこと診させていただく継続性は他には代えがたいものですし、診療室では複数の科にまたがる疾患を同時に診療していく総合力が必要です。時には患者だけでなく家族、地域まで診ることのできる医療を行わなくてはなりません。また地域での医療活動は、診療所に来る患者だけでなく来ない患者まで視野に入れる必要があります。一言で言うと『全て』を扱う地域医療、僻地医療はとてもおもしろいですよ。また、後期研修が終わったら、更に診療所のある地域だけでなく、市の行政とともに浜田市全体を診る地域医療が待っています。現在の当地の地域医療は決して完成されたものではないと思います。後期研修医として当プログラムで一緒に頑張ってくれる研修医の皆さんと共に、地域の医療をよりよいものにできれば、こんなに嬉しいことはありません。皆さんの応募をお待ちしています。



浜田市国民健康保険 あさひ診療所 所長 佐藤 誠

研修内容

研修の特徴

- 診療所研修では、外来、訪問診療研修だけでなく、指導医とともに地域ケア会議の参加、地域への働きかけ、学校医、産業医活動などにかかわってもらいます。毎日診察終了後は外来患者のレビューを行い、総合診療への理解を深めていきます。
- 浜田医療センター総合診療科では、外来研修、病棟研修、カンファレンスを通して研修を行います。指導医は波佐診療所で長年働かれた北條医師が務めます。病院での診断治療に限らない、入院前から退院後までの患者さんの生活全般を考えたマネージメントを学ぶことができます。
- 学生や初期研修医への教育の機会も多いので、研修医のみなさんに積極的に携わっていただこうと思います。
- 月に1回は、「包括ケア勉強会」という勉強会を行っています。研修医のまとめやポートフォリオのブラッシュアップだけでなく、我々指導医も総合診療に対して研鑽を深めています。一緒に学びましょう。

カンファレンス等

- 包括ケア勉強会 月1回
- 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会・セミナーに参加
- 全国国保地域医療学会に参加
- 島根県国保地域医療学会に参加



スケジュール例

年	月	4-6		7-9		10-12		1-3		
		4月第1週				10月第1週				
間	1年次	診療所連合体 弥栄診療所	浜田医療センター 総合診療科				診療所連合体 弥栄診療所	浜田医療センター 循環器内科・消化器内科・呼吸器内科から選択		
	2年次	診療所連合体 弥栄診療所	浜田医療センター 希望選択(整形外科など)	浜田医療センター 小児科		診療所連合体 弥栄診療所	西川病院 精神科	浜田医療センター 総合診療科(救急科研修)		
	3年次	診療所連合体 弥栄診療所								
週	AM	外来	外来	検査	外来	外来	外来			
	PM	外来	訪問診療	外来	訪問診療	カンファレンス				
	夕方	ミニカンファレンス	ミニカンファレンス	包括ケア勉強会	ミニカンファレンス					



応募連絡先

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
浜田市役所 地域医療対策課 医療対策係 市原 隆志
TEL: 0855-25-9310 FAX: 0855-23-3440
E-mail: iryou@city.hamada.shimane.jp
HP: http://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1394426645267/index.html



医療法人 橘井堂 津和野共存病院

○ 津和野共存病院総合診療専門 研修プログラム

連携施設 益田赤十字病院、社会医療法人 石州会 六日市病院

施設概要

津和野共存病院は町唯一の病院です。津和野共存病院を運営する法人は、津和野共存病院の他に、診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅専門診療所を有し、外来、救急、入院、介護入所、退院後は訪問診療と一連の医療が提供できます。また行政の地域医療対策課（地域包括支援センターを含む）が病院内に設置しており、行政とともに地域の課題を解決し、地域包括ケアをリアルタイムに実践しながら、指導医と学び合い成長の場として研修が行える施設です。



所在地 〒699-5604 島根県鹿足郡津和野町森村口141

診療科目 内科、神経内科、循環器内科、放射線科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科

院長 須山 信夫

医師数 常勤医師 4人

開設者 津和野町長 下森 博之

開設年月日 2009年1月

病床数 99床（一般50床うち地域包括ケア病床27床、療養49床）※療養休床中

外来患者数 98人

入院患者数 36人

処遇・募集要項

応募資格 医師初期臨床研修修了者

当直 有（月4回程度）

採用予定人数 2名

休暇 年次有給（法定通り）、年間休日122日（年末年始、盆休暇含む）、慶弔休暇、産前産後休暇、出産のための休暇（夫）あり、育児・介護休業、子の看護休暇有給あり、介護休暇有給あり

身分 常勤医

給与 1年次月額／法人規定による
2年次月額／法人規定による
その他／時間外手当、宿直手当、通勤手当

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 有（単身用20,300円、世帯用31,300円）

× 指導医からのメッセージ

1日の終わりには指導医と一緒に振り返りを行い今日出来たこと、出来なかったこと、次はどうしたいかなど指導医と一緒に学び成長する環境を提供します。島根大学医学部総合医療学講座による定期的なテレビ会議によるカンファレンスに参加しポートフォリオの作成支援も併せて行います。病院内に津和野町の地域包括支援センターが入り、行政及び他事業所そして住民という多職種・多施設が連携出来る基盤が整っています。この心強い連携により、「医療から介護まで」を津和野町全体で「地域包括ケア」ができる体制づくりを目指しています。患者さんに最も近い医療、地域に密着した医療に地域住民の一人として参加してみませんか。



院長
須山 信夫



副院長
飯島 献一

研修内容

研修の特徴

日本において高齢化が進む中で地域包括ケアが実践できる総合診療専門医を養成するための系統だったシステムが必要なことを重視し、島根県の同一二次医療圏域で研修サイトをローテートしながら複数の総合診療のロールモデルと出会い研修を積むことができる研修体制を整備しています。



カンファレンス等

- 病院内の医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、連携室員での週1回のカンファレンス
- 島根大学医学部総合医療学講座による週一回のテレビ会議によるカンファレンスに参加しポートフォリオの作成支援も併せて行う
- 学会活動：年1回の日本プライマリ・ケア連合学会学術大会に参加する
- プライマリ・ケアレクチャーカンファレンス週2回

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	必修 内科(益田赤十字病院)						必修 小児科(益田赤十字病院)			必修 救急(益田赤十字病院)		
	2年次	産婦人科 ^{*1}	整形外科 ^{*1}	津和野共存病院 総合診療医研修Ⅰ			津和野共存病院 総合診療医研修Ⅱ						
	3年次	津和野共存病院 総合診療医研修Ⅱ						六日市病院 総合診療医研修Ⅱ					

*1…益田赤十字病院領域別研修

総合診療専門研修Ⅰ

週	月	火	水	木	金
AM	外来健診	外来健診	総合診療勉強会		総合診療勉強会 外来
PM	健診 訪問診療	健診 訪問診療		健診・乳幼児健診、予防接種(週替わり)	
夕方	症例カンファレンス				症例カンファレンス



総合診療専門研修Ⅱ

週	月	火	水	木	金
AM	朝カンファレンス・病棟業務				
PM	救急外来				
夕方	症例カンファレンス				

応募連絡先

〒699-5604 島根県鹿足郡津和野町森村口141
医療法人 橘井堂 総務課 齋藤 敬子
TEL : 0856-72-0660 FAX : 0856-72-0774
E-mail : saitou@tsuwano-hp.or.jp
HP : <http://kisseido.jp>



JR津和野駅より徒歩20分

大田市立病院

◎ 大田市立病院総合診療医・家庭医育成プログラム

協力病院・施設 大田シルバークリニック、大曲診療所、津和野共存病院、島根大学病院



施設概要

世界遺産石見銀山や国立公園三瓶山など歴史と豊かな自然に囲まれた大田市にある、圏域人口約6万人の中核となる医療機関です。

2011年10月より、島根大学医学部のサテライトキャンパスとして院内に大田総合医育成センターが設置され、積極的に総合診療医の育成に取り組んでいます。

2019年度開院に向け、新病院の建設が進められています。



2019年度開院予定

所在地 〒694-0063 島根県大田市大田町吉永1428番地3

院長 西尾 祐二

開設者 大田市長 竹腰 創一

開設年月日 1999年2月

病床数 339床
(一般280床(うち地域包括ケア病床52床)、療養55床(うち回復期リハビリテーション病床31床)、感染4床)

外来患者数 383.1人/日

入院患者数 184.4人/日

診療科 内科・精神科・神経内科・呼吸器内科・消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

医師数 23人

指導医からのメッセージ

当院は島根県の中央に位置し、世界遺産に海に山と、忙しい研修の合間にも自然を楽しむことのできるロケーションです。

総合診療専門研修Ⅱを当院で行う独自プログラムと島根大学医学部との協力で当院にて総合診療専門研修Ⅱを実施する協力的プログラムの二種類のプログラムに対応しています。平成26年度には2名の後期研修医が研修を行いました。また、島根大学の地域医療研修として実習を行う研修医、青梅市立総合病院から初期研修に訪れる研修医やカザフスタンから研修に来院する医師もあり、若い先生方の交流も行われています。

地域の中核病院としての性格上、common diseaseを中心とした症例は豊富です。当院で一緒に学んでみませんか。



島根大学医学部
大田総合医育成センター長
(教授) 山形 真吾

研修内容

カンファレンス等

- ◎ 早朝勉強会（英語論文の抄読、心電図の読み方など）週1回実施
- ◎ ふりかえり勉強会（TV会議を利用した症例検討など）週1回実施
- ◎ 総合診療医出張指導（外部講師による指導）年3回程度実施
- ◎ その他各種外部研修、学会等に参加可能



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
間	1年次	大田市立病院（総合診療専門研修Ⅱ）							大田市立病院（内科）			大田市立病院（小児科）		
	2年次	大田シルバークリニック・大曲診療所・津和野共存病院（総合診療専門研修Ⅰ）							大田市立病院（総合診療専門研修Ⅱ）			島根大学病院（救急科）		
	3年次	（領域別研修）			大田市立病院（内科）				（領域別研修）			大田市立病院（総合診療専門研修Ⅱ）		

週	月	火	水	木	金
早期		早朝勉強会			
AM	外来	外来	外来	外来	外来
PM	病棟	病棟	病棟	病棟	ふりかえり勉強会
夕方	内科カンファレンス				



処遇・募集要項

応募資格	医師免許取得者で初期臨床研修修了者または修了見込者
採用予定人数	3名
身分	大田市立病院正規職員
給与	1年次月額/670,700円 2年次月額/686,500円 その他/住宅手当、時間外手当、宿直手当、通勤手当、期末・勤勉手当など

当直	月2～3回
休暇	年次有給休暇20日（初年度は15日）、夏季休暇3日、年末年始休暇あり
社会保険等	市町村職員共済組合に加入
宿舎の有無	医師宿舎あり (23,000円/月、共益費を含む)

応募連絡先

〒694-0063 島根県大田市大田町吉永1428番地3
 事務部 大田総合医育成センター支援室 和田 二郎
TEL: 0854-82-0330 FAX: 0854-84-7749
 E-mail: kensyuu@ohda-hp.ohda.shimane.jp
 HP: http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp



JR大田市駅よりバス7分

社会医療法人 石州会 六日市病院

◎ 吉賀町：県境を含む中山間地域で育む総合医研修プログラム

GPMABY: Generalist training Program of Medium-mountainous areas And Border in Yosika

救急告示
災害拠点
地域医療拠点

協力病院・施設 益田赤十字病院、松ヶ丘病院、津和野共存病院

施設概要

六日市病院は島根県西部、広島県、山口県の県境に位置し、中山間地域にあります。吉賀町はその面積のほとんどが山、森に覆われており冬には大雪となることもある地域で、六日市病院は吉賀町にある唯一の病院として6,500人の住民に医療を提供しています。当院では『地域に生きる人の日常性を維持する』、『地域に生きる人の非日常事態に備える』ことが重要と考えています。そのために必要なのはジェネラリストでありホスピタリストです。ジェネラリストとは、一般的な病気の診断と治療、初期救急、適切な紹介、慢性疾患の長期管理、健康増進と疾病予防、チームにおけるリーダーシップ、全人的包括的医療を役割としています。ホスピタリストとはジェネラリストの役割に加え、さらに教育(看護師、医療従事者)、管理(感染対策、労務)、経営(費用対効果の考慮、TQMやPDCAサイクルを用いた質の改善)なども行います。当院は、外来及び入院施設、老人保健施設も兼ね備えるため、ジェネラリスト、ホスピタリストを養成します。



所在地 〒699-5513 島根県鹿足郡吉賀町六日市368番地4

診療科 内科、外科、脳神経外科、泌尿器科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
非常勤;眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、漢方内科、小児科

病院長 谷浦 博之

開設者 重富 亮

開設年月日 1981年5月

医師数 常勤医師7人

病床数 110床(一般50床(うち地域包括ケア病床8床)、療養60床)

外来患者数 104人/日

入院患者数 102人/日

指導医からのメッセージ

当院は1981年に開設して以来、周辺地域の医療圏ではオンリーワンとなっています。そのため、院内、院外の危機管理(消防、警察との連携)、行政との関わり(周辺住民の健康教室、ケアカンファレンス)、社会医療法人における経営(自助努力を含めた永続的な医療提供に向けた取り組み)を周辺住民のニーズに応えながら変化し進化し続けています。職員は医療従事者、事務を含め地元出身者も多く、地元、ひいては島根県の医療の灯を絶やさぬように、また地域医療での新たなロールモデルとなることを目指し日々の業務、システム構築に励んでいます。このような当院での取り組み、雰囲気を感じて頂き、共に体験を共有できれば幸いです。



診療部 内科 部長
重富 雄哉

研修内容

カンファレンス等

- 症例カンファレンス(入院患者に関して、指導医3名とともに症例について診断/治療に関してカンファレンス)
- 全体カンファレンス(看護師、セラピスト、管理栄養士、MSW、クラーク、医師、歯科医師が集まり、週に2回急性期病棟の患者のカンファレンス)
- 症例検討会(月に1回行う)
- 抄読会(月1回)
- TV会議(出雲家庭医療学センター、大学で行うカンファレンスに参加)



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
間	1年次	六日市病院(総合医研修)										益田赤十字病院(小児科)		
	2年次	益田赤十字病院(救急科)			益田赤十字病院(内科)						松ヶ丘病院(精神科)			
	3年次	津和野共存病院(外来/往診研修)						六日市病院(総合医研修)						

週	月	火	水	木	金
AM	病棟	外来	病棟	病棟	外来
PM	外来/病棟	病棟	外来/病棟	外来/病棟	病棟
夕方			症例検討 抄読会 カンファレンス		



処遇・募集要項

応募資格 医師免許取得者
採用予定人数 1名
身分 常勤医
給与 1年次月額/530,000円
2年次月額/618,334円
その他/食事手当、実績に基づく給与(当直手当、待機手当、家族手当、交通費又は家賃(実費支給))

当直 月3回程度
休暇 有給休暇、夏期休暇3日
年末年始休暇6日あり
社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
宿舍の有無 有

応募連絡先

〒699-5513 島根県鹿足郡吉賀町六日市368番地4
総務人事課 橋垣 弘介
TEL: 0856-77-1581 FAX: 0856-77-1580
E-mail: kosuke-hashigaki@sekisyukai.or.jp
HP: http://www.sekisyukai.or.jp/



中国自動車道六日市I.C.より車で2分
石見交通バス 六日市停留所より徒歩5分

島根県について

島根県の高齢化率は昭和50年から平成21年まで35年連続で全国第1位、平成22年から23年までは第2位、24年から26年までは第3位（平成26年高齢化率；島根県31.8%、全国26%）と、従来から全国有数の高齢県で日本全体の高齢化の10～20年先を走っています。このことは島根県が高齢者医療の最先端を走っていることに他なりません。日本が20年後に迎える長寿社会の医療を今、ここ島根で学んでみませんか。

さらに、島根は衣食住環境もとても良く、都会からのアクセスも便利です。島根の魅力の一部をご紹介します。島根にぜひお越しください。お待ちしております！

食べ物

島根を代表する味覚と言えば出雲そば・しじみ・仁多米・しまね和牛。さらに冬の味覚の松葉がに・のどぐろ・寒ブリ…等々、また日頃から新鮮でおいしい野菜や果物もたくさん食べられます。

観光地

縁結びで有名な出雲大社・世界遺産 石見銀山・世界ジオパークに認定された隠岐諸島など、島根には世界に認められた魅力的な観光地があふれています。

温泉

美肌県島根には、古代からこんこんと湧く玉造温泉をはじめとする、43ヶ所の温泉地があります。美白でなめらかなお肌に変身すること間違いなしです。



島根へのアクセス

島根県へは飛行機でのアクセスも便利です。出雲空港、萩・石見空港、隠岐空港と県内3つの空港にくわえて、隣接する鳥取県の米子空港の利用も可能。国内各主要都市から定期便が就航しています。



●空港

- 出雲空港 東京 5 往復 (1h20m)、大阪 5 往復 (50m)、名古屋 1 往復 (1h)、福岡 2 往復 (1h10m)
- 萩・石見空港 東京 2 往復 (1h30m)
- 隠岐空港 出雲 1 往復 (30m)、大阪 1 往復 (1h)
- 米子空港 東京 7 往復 (1h20m)

※時期によって便数が変わることがあります。

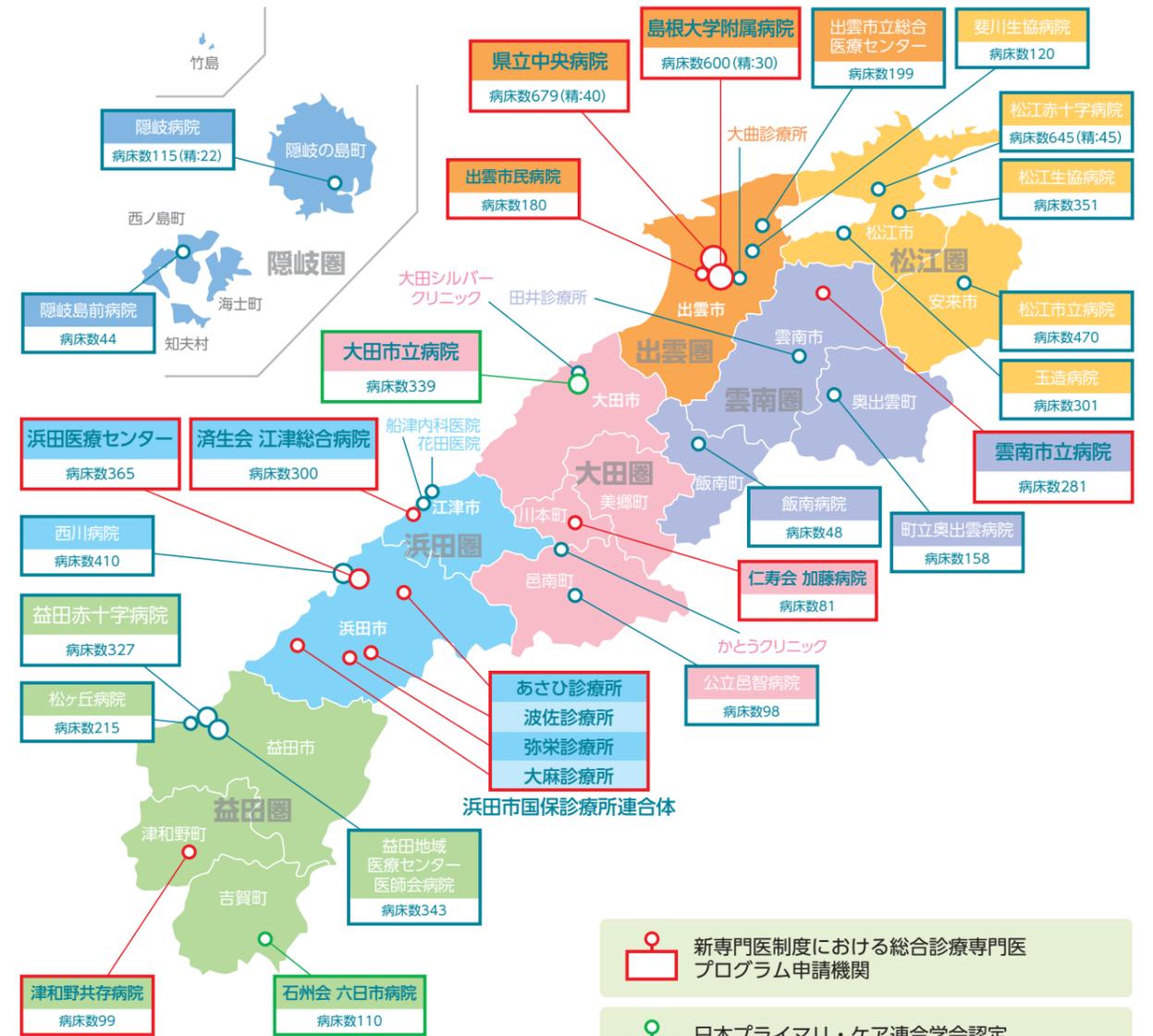
●鉄道

- 松江～岡山 特急「やくも」(2h35m)
- 松江～岡山～大阪 特急「やくも」～新幹線 (3h30m)
- 浜田～新山口 特急「おき」(2h10m)
- 東京～出雲市 寝台特急「サンライズ出雲」(12h)

●車（高速道路利用）

- 浜田～広島 (1h30m)
- 松江～広島 (2h15m)

島根県内の病院（当ネットワーク関連医療機関）



- 新専門医制度における総合診療専門医プログラム申請機関
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医プログラム管理医療機関
- 連携施設
その他、気仙沼市立本吉病院（宮城県）と連携



島根 総合診療専門医育成ネットワークパンフレット 第4版

発行日 2016年9月1日

※当冊子に掲載されている情報は2016年4月1日時点のものです。
新専門医制度における総合診療専門医のプログラム内容はまだ日本専門医機構から
認定を受けていない暫定版です。認定され次第、決定版を発行予定です。

発行者 総合診療専門医育成ネットワーク

〒693-8501
島根県出雲市塩冶町 89-1 島根大学医学部地域医療支援学講座内
TEL : 0853-20-2558 FAX : 0853-20-2563
Email : career@med.shimane-u.ac.jp

冊子PDF 当冊子のPDFが島根大学医学部地域医療支援学講座HPに掲載されています。
<http://www.communityshimane.jp/>